

釧路の人口問題を考える～若者を中心に

釧路市まち・ひと・しごと創生意見交換会
2015年9月15日

釧路公立大学 准教授
下山 朗

▶ 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 の位置づけ

- ・ わが国の急激な少子高齢化の進展に的確に対応するための法律「まち・ひと・しごと創生法」が制定
- ・ 自治体は、次の2つを策定する必要
 - 1) 人口ビジョン
 - 2) (人口ビジョンを受けた)総合戦略 の策定

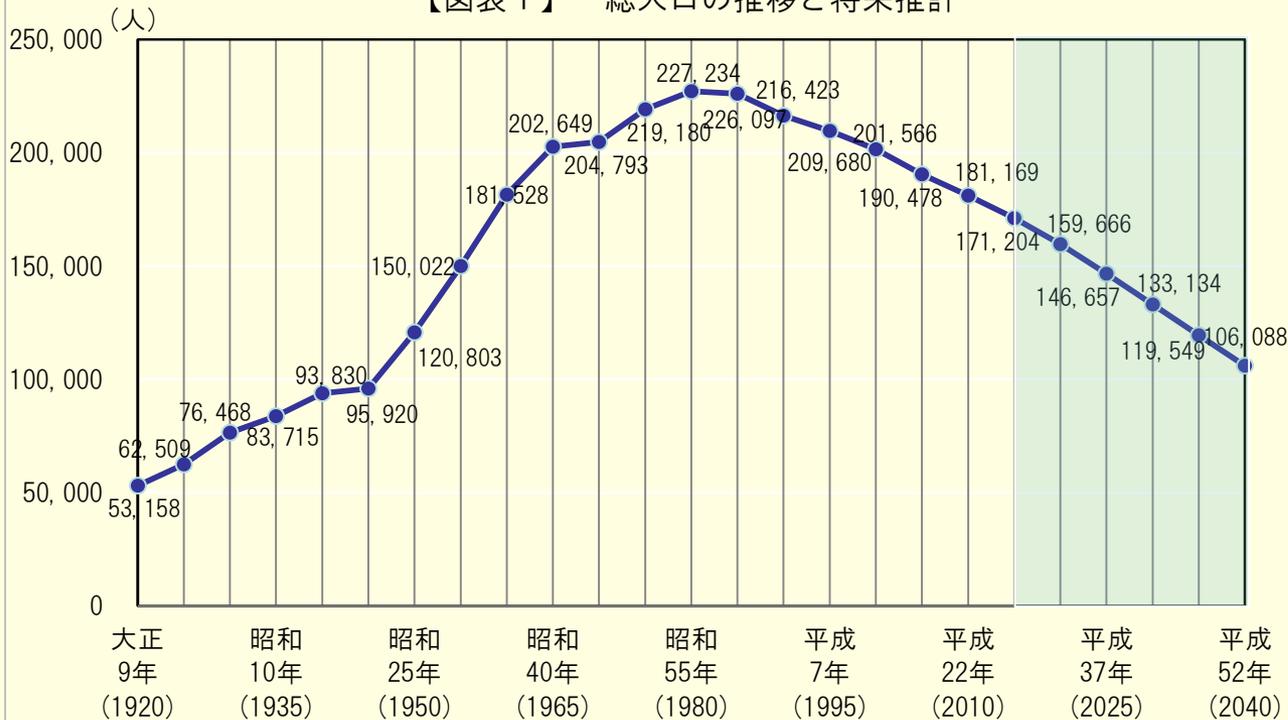
人口減少！



対策(=総合戦略)

▶ 釧路の人口問題①

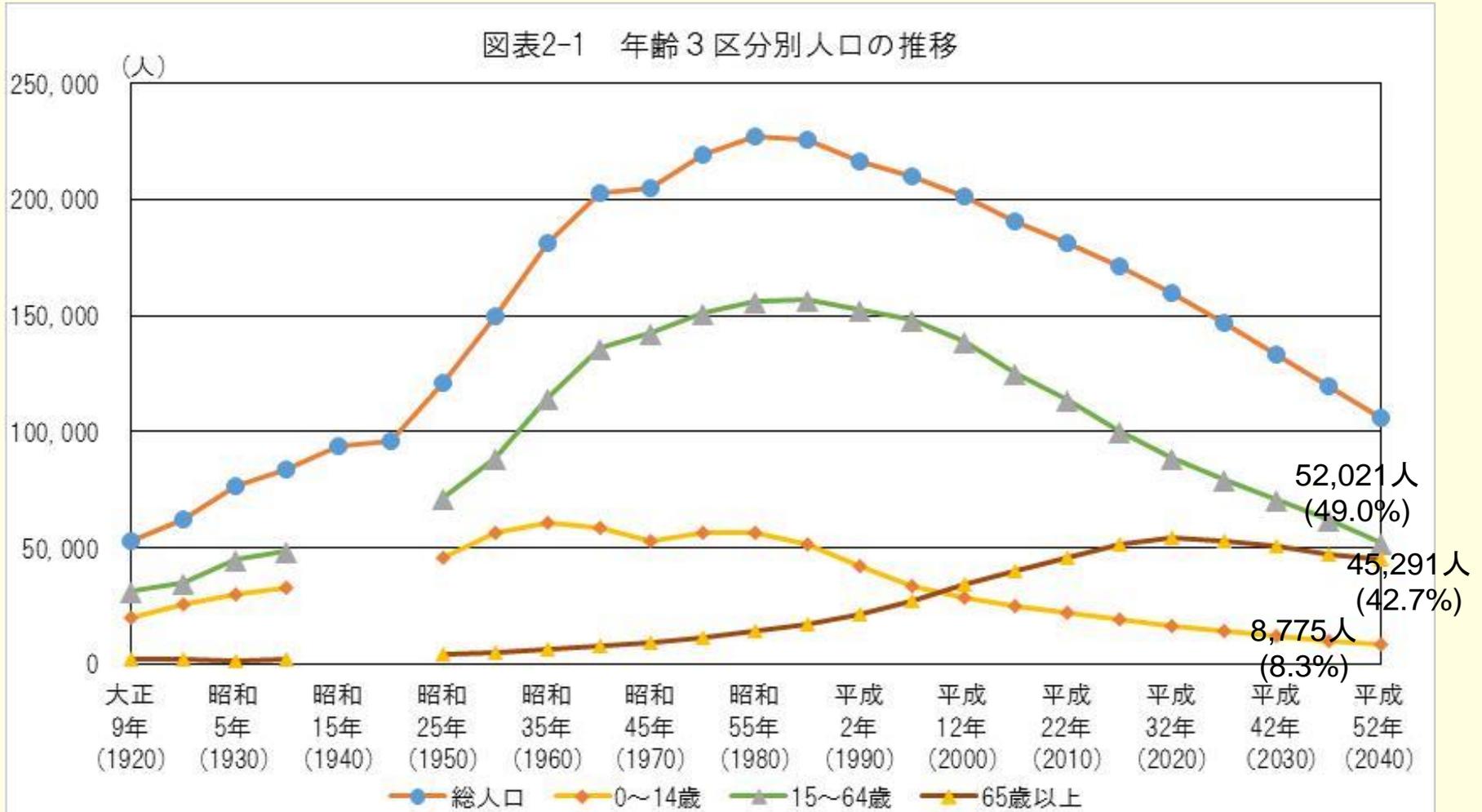
【図表1】 総人口の推移と将来推計



- ・昭和55年(1980)をピークに減少段階に入ってきている
- ・特に、あと25年後(平成52年(2040))には、人口10万人台まで減少する恐れ。

出所: 釧路市「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 より抜粋

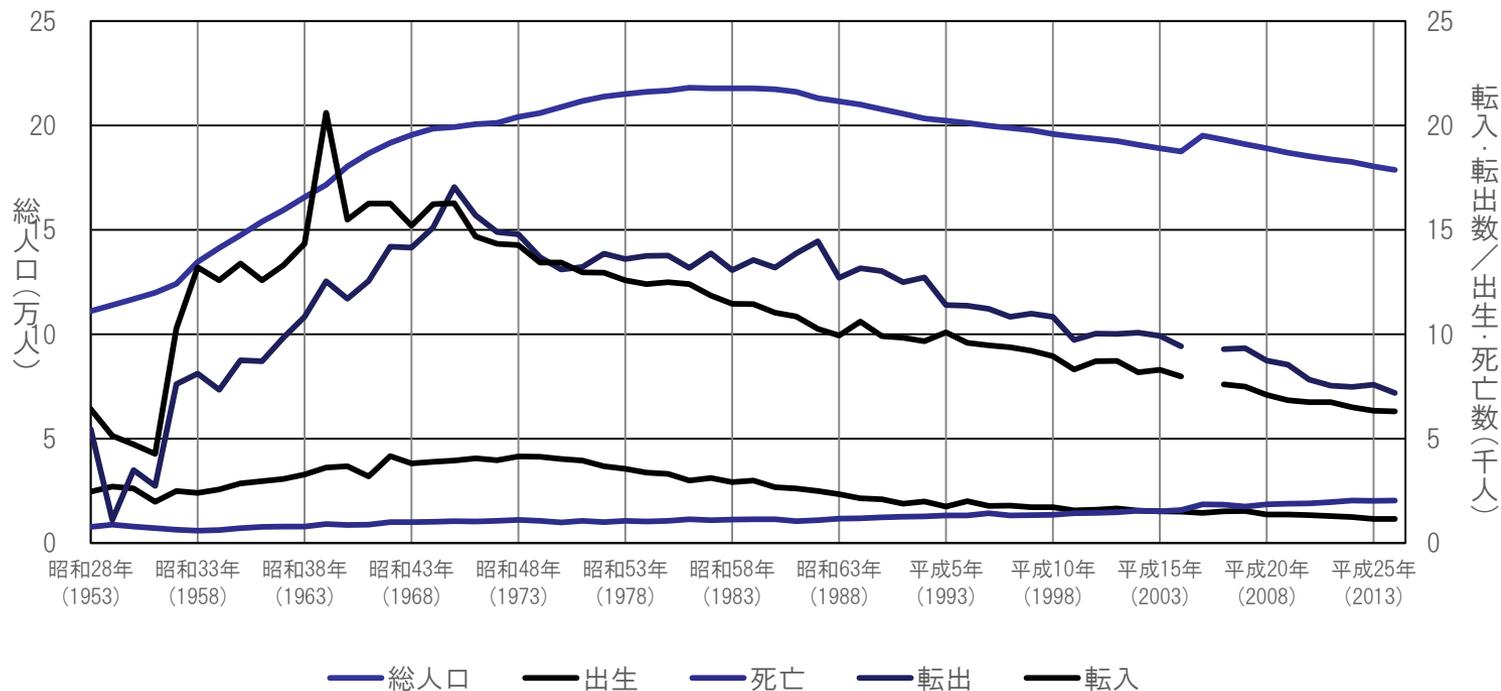
▶ 釧路の人口問題②



出所：釧路市「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 より抜粋

▶ 釧路の人口問題③

図表3 出生・死亡数、転入・転出数の推移



出所: 釧路市「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 より抜粋

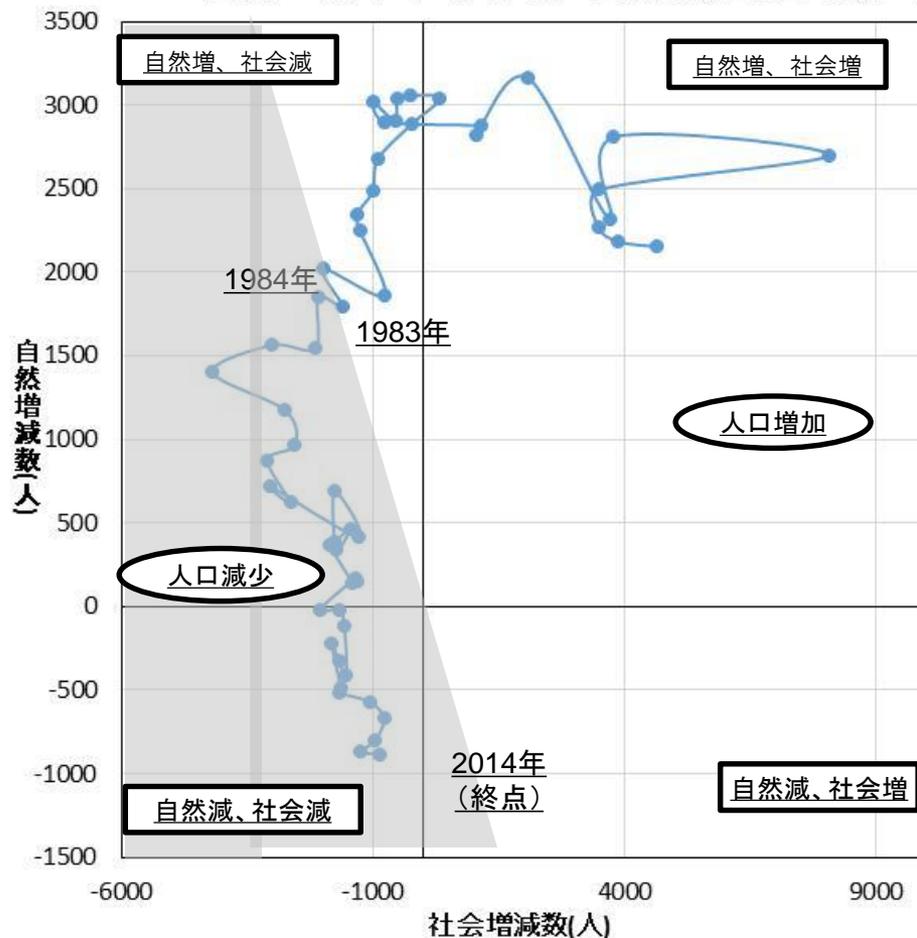
- ・昭和50年代より「**転出が転入を上回る**」社会減の状態
- ・平成20年頃からは、「**死亡数が出生数を上回る**」自然減の状態



多方面での対策が必要

釧路の人口問題④

図表4 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響

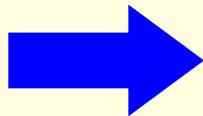


- ・一番左下の「自然減、社会減」にはいって、10年近く経っている
- ・社会減については30年以上経っているが、有効な対策は見いだせていない(十分効果は上がっていない可能性)

出所: 釧路市「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 より抜粋

釧路の人口問題－まとめ

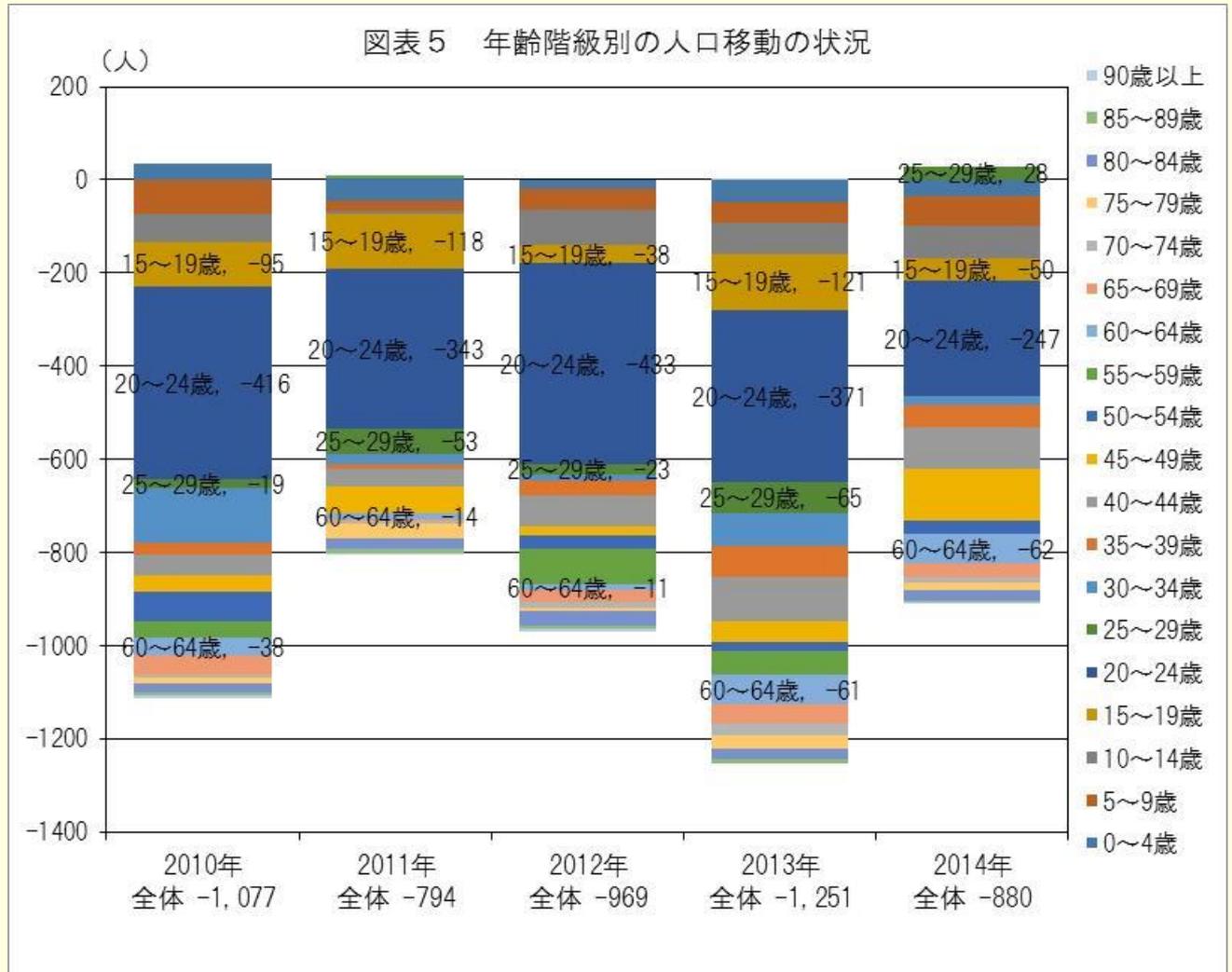
- 1) 人口減少トレンドは続いていく見込み。既に減少トレンドに入って30年経つ
- 2) 転出が転入を上回る 社会減になってからも30年
- 3) 死亡数が出生数を上回る 自然減も 10年経ち総合的な対策が必要



- なぜ「社会減」が生じるのかを分析・検討しているのか？
- 今まで十分な対策が行われてきたのか？

つぎに、若者と人口移動の状況についてみていく

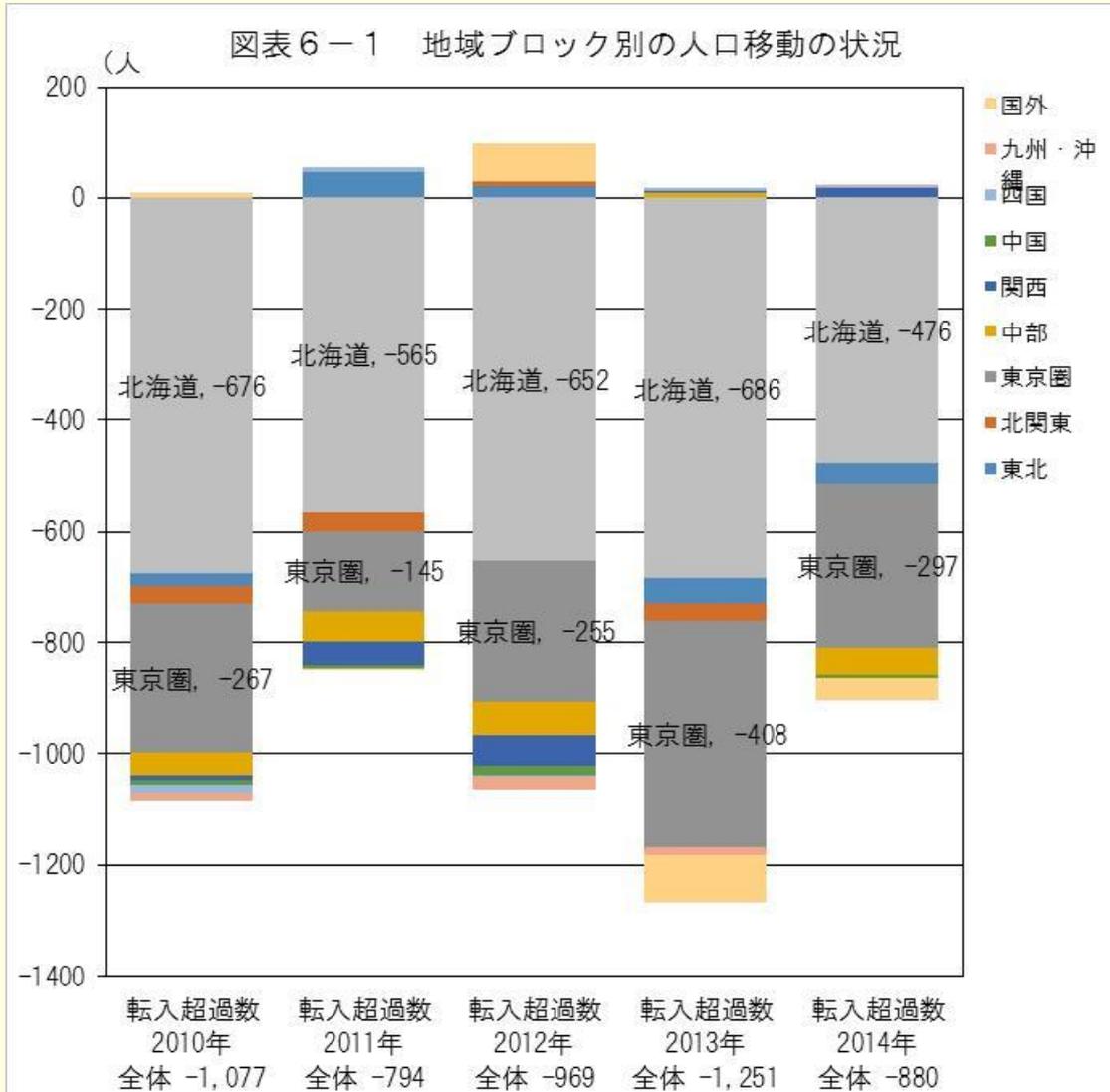
▶ 釧路の若者と人口移動について考える①



- ・ほぼ全ての世代で、人口移動し減少している
- ・特に、**20~24歳**になる世代について移動(マイナス)が多い
- ・普通あまり動かないと考えられる「高齢者層」もそれなりに移動(マイナス)している

出所: 釧路市「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 より抜粋

▶ 釧路の若者と人口移動について考える②



・移動は道内が多いのだが、本州も1/3ぐらいは移動している

出所: 釧路市「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 より抜粋

▶ 釧路の若者と人口移動について考える③

問1 道内の主要都市でも 札幌や本州に流れているのだろうか？

	札幌市	江別市	小樽市	室蘭市	苫小牧市	函館市	旭川市	北見市	帯広市	釧路市
総人口	#####	120,439	126,781	90,996	174,024	273,712	348,378	123,074	168,614	179,754
転入出計	12,139	75	-773	-661	60	-265	462	-307	195	-485
札幌市	0	-478	-988	-422	-498	-593	-881	-497	-307	-594
江別市	478	0	1	-4	25	-28	-26	-31	35	-23
小樽市	988	-1	0	10	-8	12	-25	-17	-7	0
室蘭市	422	4	-10	0	44	37	21	-2	4	-22
苫小牧市	498	-25	8	-44	0	-12	-25	-11	-10	10
函館市	593	28	-12	-37	12	0	-6	6	-9	-13
旭川市	881	26	25	-21	25	6	0	-94	-72	-67
北見市	497	31	17	2	11	-6	94	0	21	-16
帯広市	307	-35	7	-4	10	9	72	-21	0	-62
釧路市	594	23	0	22	-10	13	67	16	62	0

	札幌市	江別市	小樽市	室蘭市	苫小牧市	函館市	旭川市	北見市	帯広市	釧路市
総人口	#####	123,086	139,712	97,517	173,322	290,873	357,182	127,599	170,286	191,407
全道	12,953	398	-592	-111	647	-716	635	-336	-654	-769
札幌市	0	-310	-843	-261	-330	-787	-1,008	-697	-563	-962
江別市	310	0	-22	1	12	-26	-45	13	-16	-64
小樽市	843	22	0	-15	12	-29	13	2	-4	-35
室蘭市	261	-1	15	0	30	-47	0	0	-14	-30
苫小牧市	330	-12	-12	-30	0	-66	-28	-12	-30	60
函館市	787	26	29	47	66	0	5	-2	21	-44
旭川市	1,008	45	-13	0	28	-5	0	-127	45	-79
北見市	697	-13	-2	0	12	2	127	0	23	26
帯広市	563	16	4	14	30	-21	-45	-23	0	-46
釧路市	962	64	35	30	-60	44	79	-26	46	0

出所:北海道「住民基本台帳人口移動報告」より作成

[見方]・・・ H26年において、釧路市は札幌市に対して、-594人(転出超過)、帯広市に-62人(転出超過)となっている

○ 札幌は、主要都市全てにおいて強い(人口の吸引力がある)

※ もちろん、道外に対しては弱いのだが・・・

○ 釧路は特に、札幌以外においてもほとんどの都市に対して「転出超過」になっている →

拠点都市？中心都市？としてこれで良いのか？

▶ 釧路の若者と人口移動について考える④

問2 釧路市からはどういう理由で「転出」しているのだろうか？

転出(男)	回答者数	転勤	就職等	退職等	進学	結婚
18歳	120	5 (4%)	66 (55%)	1 (1%)	46 (38%)	0 (0%)
19歳	19	3 (16%)	3 (16%)	0 (0%)	13 (68%)	0 (0%)
20歳	51	3 (6%)	30 (59%)	0 (0%)	13 (25%)	1 (2%)
21歳	24	2 (8%)	16 (67%)	0 (0%)	3 (13%)	0 (0%)
22歳	111	4 (4%)	101 (91%)	1 (1%)	2 (2%)	1 (1%)
23歳	44	7 (16%)	35 (80%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)
24歳	38	18 (47%)	17 (45%)	2 (5%)	1 (3%)	1 (3%)
25歳	43	26 (60%)	16 (37%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)
26歳	32	17 (53%)	14 (44%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)

転出(女)	回答者数	転勤	就職等	退職等	進学	結婚
18歳	82	4 (5%)	16 (20%)	0 (0%)	61 (74%)	0 (0%)
19歳	10	2 (20%)	4 (40%)	0 (0%)	3 (30%)	0 (0%)
20歳	36	3 (8%)	28 (78%)	1 (3%)	5 (14%)	1 (3%)
21歳	27	1 (4%)	22 (81%)	1 (4%)	2 (7%)	0 (0%)
22歳	61	0 (0%)	52 (85%)	1 (2%)	3 (5%)	3 (5%)
23歳	24	2 (8%)	15 (63%)	2 (8%)	3 (13%)	2 (8%)
24歳	16	7 (44%)	9 (56%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
25歳	26	12 (46%)	9 (35%)	1 (4%)	1 (4%)	2 (8%)
26歳	25	13 (52%)	7 (28%)	1 (4%)	2 (8%)	3 (12%)

出所：釧路市「釧路市転入・転出アンケート調査」より作成

[見方]・・・ 転出に関するアンケート調査結果。

・20歳代は総じて就職が多く、24歳以降は転勤も多い。また、サンプルは少ないものの、22歳～26歳で退職も切れ目なく出ているのは気になる。

▶ 釧路の若者と人口移動について考える⑤－補足

気になったので、全年齢の平均と比較する－特化係数という手法

転出(男)	回答者数	転勤	就職等	退職等	進学	結婚
18歳	120	0.07	2.22	0.57	5.83	0.00
19歳	19	0.26	0.64	0.00	10.41	0.00
20歳	51	0.10	2.38	0.00	3.88	1.74
21歳	24	0.14	2.69	0.00	1.90	0.00
22歳	111	0.06	3.67	0.62	0.27	0.80
23歳	44	0.26	3.21	1.56	0.35	0.00
24歳	38	0.78	1.81	3.60	0.40	2.33
25歳	43	0.99	1.50	1.59	0.35	0.00
26歳	32	0.87	1.77	2.14	0.00	0.00

転出(女)	回答者数	転勤	就職等	退職等	進学	結婚
18歳	82	0.09	0.95	0.00	6.77	0.00
19歳	10	0.37	1.96	0.00	2.73	0.00
20歳	36	0.15	3.80	1.82	1.26	0.59
21歳	27	0.07	3.98	2.42	0.67	0.00
22歳	61	0.00	4.17	1.07	0.45	1.05
23歳	24	0.15	3.05	5.45	1.14	1.78
24歳	16	0.81	2.75	0.00	0.00	0.00
25歳	26	0.85	1.69	2.51	0.35	1.64
26歳	25	0.96	1.37	2.62	0.73	2.56

出所:釧路市「釧路市転入・転出アンケート調査」より作成

[見方]・・・ 全年齢のそれぞれの理由のシェア(%)と、各年齢ごとの理由のシェア(%)が何倍程度違うかを表したもの。

例) 全年齢で「進学による転出」の割合が10%、20歳の「進学による転出」の割合が20%だとしたら、**2.00**となる。

・本来は退職は「中年～高齢」で増えるはずなので、この世代の比率は高い方といえる可能性。

▶ 釧路の若者と人口移動について考える⑥

転出(男)	移動総数	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	宗谷	オホーツク	胆振	日高	十勝	釧路	根室	道外・その他
総数	1,506	471 (31%)	49 (3%)	2 (0%)	20 (1%)	34 (2%)	45 (3%)	4 (0%)	12 (1%)	77 (5%)	59 (4%)	4 (0%)	137 (9%)	112 (7%)	47 (3%)	433 (29%)
18歳	120	39 (33%)	1 (1%)		1 (1%)	1 (1%)				2 (2%)	10 (8%)		4 (3%)	12 (10%)	2 (2%)	48 (40%)
19歳	19	3 (16%)					2 (11%)				2 (11%)		1 (5%)	2 (11%)		9 (47%)
20歳	51	12 (24%)			1 (2%)	1 (2%)					2 (4%)		4 (8%)	3 (6%)	5 (10%)	23 (45%)
21歳	24	6 (25%)					1 (4%)				1 (4%)		5 (21%)	4 (17%)		7 (29%)
22歳	111	24 (22%)			1 (1%)	3 (3%)	1 (1%)		2 (2%)	5 (5%)	4 (4%)	1 (1%)	10 (9%)	9 (8%)	1 (1%)	50 (45%)
23歳	44	11 (25%)	3 (7%)		1 (2%)	1 (2%)				2 (5%)	2 (5%)		5 (11%)	2 (5%)	2 (5%)	15 (34%)
24歳	38	6 (16%)				1 (3%)	1 (3%)		1 (3%)	4 (11%)			1 (3%)	4 (11%)	2 (5%)	18 (47%)
25歳	43	12 (28%)	3 (7%)			2 (5%)				2 (5%)			6 (14%)	3 (7%)	3 (7%)	12 (28%)
26歳	32	8 (25%)				1 (3%)	3 (9%)		1 (3%)	1 (3%)	2 (6%)			2 (6%)	1 (3%)	13 (41%)

出所：釧路市「釧路市転入・転出アンケート調査」より作成

- ・石狩管内が最も移動のシェアが高い
- ・しかしながら、21歳～25歳においては、十勝管内への移動も多く、特に釧路管内間での移動よりも多い時もあるのが特徴。

▶ 結婚と離婚と出産

H20-H24

	出生率(人口千対)		婚姻率(人口千対)		離婚率(人口千対)		総人口
札幌市	7.7	9位/35	5.9	4位/35	2.4	6位/35	1,906,663
旭川市	7.4	12位/35	5.2	7位/35	2.2	14位/35	346,523
函館市	6.5	22位/35	4.8	15位/35	2.2	13位/35	278,460
釧路市	7.3	14位/35	5.0	9位/35	2.5	4位/35	180,811
苫小牧市	8.9	2位/35	6.1	2位/35	2.8	2位/35	172,942
帯広市	8.4	4位/35	6.0	3位/35	2.4	8位/35	167,635
小樽市	5.4	28位/35	3.9	23位/35	2.0	23位/35	131,549
北見市	7.3	14位/35	4.9	12位/35	2.3	9位/35	125,428
江別市	5.6	27位/35	3.4	27位/35	1.9	27位/35	123,440
室蘭市	6.8	17位/35	4.7	16位/35	2.0	24位/35	94,272

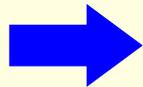
H10-H14

	出生率(人口千対)		婚姻率(人口千対)		離婚率(人口千対)		総人口
札幌市	8.6	11位/34	6.8	4位/34	2.8	9位/34	1,816,576
旭川市	8.3	15位/34	6.1	12位/34	2.9	5位/34	359,089
函館市	7.5	21位/34	5.8	16位/34	2.9	4位/34	287,168
釧路市	8.4	14位/34	6.3	8位/34	3.1	2位/34	191,496
帯広市	10.2	2位/34	7.2	2位/34	2.8	6位/34	172,666
苫小牧市	9.4	5位/34	6.9	3位/34	3.5	1位/34	171,742
小樽市	6.4	29位/34	4.7	23位/34	2.5	18位/34	150,417
江別市	7.0	26位/34	4.1	30位/34	2.0	30位/34	123,694
北見市	8.8	8位/34	6.2	9位/34	2.7	12位/34	111,768
室蘭市	7.6	20位/34	5.5	19位/34	2.4	20位/34	103,054

出所:厚生労働書「人口動態 保健所・市区町村統計」より作成

[総人口順の表]

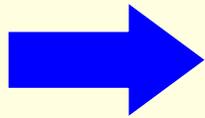
- ・釧路市は、離婚率が全35誌の中で4位と高い一方、婚姻率、出生率は低くなっている。
- ・苫小牧市、帯広市は、出生率、婚姻率が高くなっている。
- ・10年前と比べてもそのトレンドは、ほぼ変わらない



○ 婚姻率を上げる政策も、離婚率を下げる政策も必要。

▶ 若者の人口移動とその理由のまとめ

- 1) 若者の人口移動が釧路の人口減少の大きな特徴
- 2) 特に、札幌以外のほとんどの都市に対して「転出超過」になっており、吸引力が弱い(十勝圏に対しても弱い)
- 3) 進学、就職といった理由はその中心である。
- 4) 退職や転勤も今後要注意の可能性



- 若者はなぜ出て行くのか？
- どうすれば、集まるのか？

[グループワーク]

釧路の魅力とは何か？

若者だから考えれる、若者が中心的な役割を果たすためには何をしたらよいのだろうか？

▶ グループワーク NG集

1) 釧路は魅力があるのに、発信力が足りない！

2) 多種多様な人がいるのに、**情報共有**や**ネットワーク**が**足りない**、構築されていない！

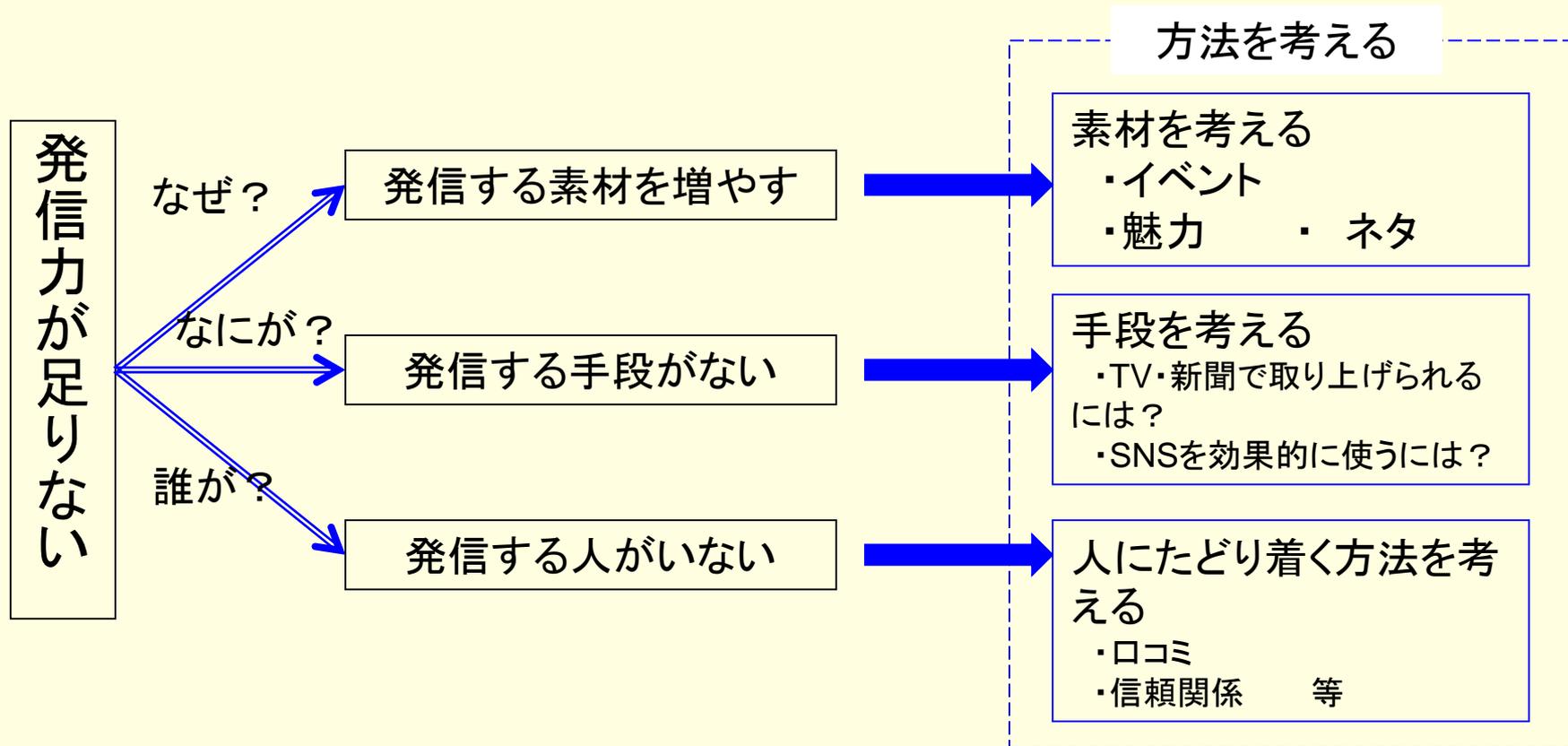


こういった、ありきたりの結論は、「わかもの」が集まるこの会議には不向き。

そもそも、聞いていて面白くないし、ブレイクスルーにならない。

▶ NGの 改善集

発信力が足りない を改善する



提案案件

全国的に話題になるイベントを1年中何度も、実行する！

イベント ① 湿原(失言)流し

[イベント概要] この1年間でしてしまった、「失言」を集めて、大賞を選定したのちに、釧路川に流すという、「失言流し」というイベント。日付は、6月17日を想定。

[直接的なメリット] 釧路湿原に来てもらう人が増える。来たい人を増やせる。景色を見てもらえる。

[間接的なメリット] 失言は全国で様々あるので、大きなことも取り上げられる。スポンサーも大きなところが見つかるかも知れない(東スポなど?)。選定大賞も有名人の可能性も?

イベント ② 阿寒(バス)男子カレンダーの発売

[イベント概要] 草食系男子、弁当男子、佐川男子などなど、次々と流行する〇〇男子。せっかく阿寒ICができて、釧路に来てもらえるチャンスが増えたのだから、その楽しみを増やしたいところ。行き帰り出会える「阿寒(バス)男子」のカレンダーを政策発売。

[直接的なメリット] 話題性。

[間接的なメリット] 長距離移動の楽しみを作るきっかけと、地域の中での「人の魅力」探しにも繋がる。